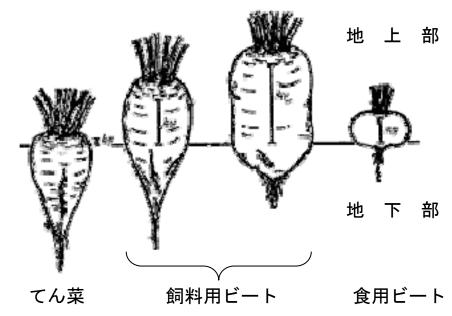
「てん菜」について

○ てん菜は、ビート(Beta vulgaris)のうち製糖用品種群をいう。植物分類上、てん菜と、食用ビート(テーブルビート及びふだんそう)及び飼料用ビートは同一種であるが、変種レベルでは異なっている。

- 日本標準商品分類(平成2年、総務庁)によれば、 てん菜(Sugar beets)、ビーツ(Table beets) 及びふだんそう(Chards swisschard)とは分けて 記載されている。
- てん菜と食用ビート及び飼料用ビートは、形態的 にも区分されている。



(出典:独立行政法人農畜産業振興機構HP)

- 〇 以上のことから、ビート(Beta vulgaris)の分類を以下の通りとして、今回、遺伝子組換え食品として表示の対象とするものは、製糖用品種群である「てん菜」及びこれをてんぷら等に調理した加工食品とする。
 - ※ 砂糖については、てん菜のDNAの残存が確認されなかったため、表示対象としない。

| 分類 | 名称 |
|-----------|--------------|
| 製糖用 | てん菜(シュガービート) |
| 食用(根菜) | ビーツ(テーブルビート) |
| 食用(葉・茎菜用) | ふだんそう |
| 飼料用 | 飼料用ビート |